

1 サンビレッジスケート場 審査委員会のメンバー 浜田市の説明 ミスの訂正
施設の審査委員のメンバーは本来バランスよく選ばれるべきだと思います。

人材の面で仕方がないのも理解できます。

しかし、第2回の審査委員会では、継続という仮結論に達していた。

第3回の審査委員会では、生涯学習課長が「類似都市はスケート場を持たない、益田市、萩市などである」と発言した

また、別の資料を提示し、「浜田市の適正数はゼロである」と発言

これらの発言により、委員会の空気が変わり、委員から「類似都市と整合性は持たせる必要があるのか？」との質問に対して、否定するどころか「そのように・・・」というような回答をした。

しかし、担当者に聞いたところ特殊施設は類似都市にあることはまれなので、

「その施設自体」が必要かどうかを判断することになると説明がありました。

その後、線についての訂正があったが、訂正をもとに議論されることはなかった。

これは、公正な審査委員会が浜田市の考えと違う結論を出しそうなので、事実とは違うともいえる説明をして、結論を誘導したようにも考えることもできる。

その後、浜田市はスケート場を多目的広場をした場合のコスト比較についての資料を作ったが、人件費は入っていない等、不正確なものであった。それでも、スケート場のコストが小さかった。

しかし、部長会議での発言は、「スケート場を継続すると指定管理料を値上げしなければならない」と、3月に退職した課長が、事実とは違う発言をした（資料は出さず）

その後、市民の強い要求により（当然のことだが）精査したコスト比較表を作り直したが、今度は、最初は、公表を拒まれ見ることができなかった。

前回の陳情の利用者の数のいい加減さと言ひ、コストの事実とは違う発言と言ひ、比較表の隠蔽と言ひ、再考の場合のハードルの高さと言ひ、廃止を望んでいるように思える。

正当な手続きで「廃止」になるなら構わないが、審査会の資料提供、不自然な発言、部長会議の事実とは違う発言、新しい比較表の出し渋りなど、誘導による決定と思われるような流れは、問題を残すと思う。

私自身は、継続に反対だが、反対の私でさえ、このような流れの決定は問題があると思わざるを得ない。
仕切り直しをするなど、手続きに納得できるプロセスを経るようお願いする。

浜田市日脚町 184-1

森谷公昭



発言希望

平成 28 年度 第 2 回 浜田市スポーツ推進審議会
平成 29 年 1 月 16 日 19:00~20:35

議事録

【事務局説明】配布資料の説明

このスポーツ施設の適正な配置及び整備についてっていうところの 2 ページ目に結論めいたようなことで書いておられますが、先ほど類似団体との比較ということで、人口規模が同様な自治体と比較した場合に浜田市のスポーツ施設について、今後のスポーツ施設の箇所数はそれぞれ、陸上競技場だったら現状 3 カ所だけど 2 カ所が望ましいというふうにあります、これをそのまま今回こういう考えて生きたいということなんでしょうか？

それじゃあお願いします。2 ページのところにまとめてあるんだね？それから競技場であれば現況 3 カ所なんだけど 2 カ所にしてはということです。その他全部ありますけど。お願いします。

【山根課長】先ほど説明にもございましたけども、大体その標準的なもので言えば、数としてはどれくらいが適正なんだろうという目安というのが必要ではないかということで、類似団体の数値から、これは適正数というふうにしますけども、この辺もいわゆる整備の方向性という文書の中に組み入れまして、こういった、これが浜田市としては適正ではないでしょうかということで、意見の中へ盛り込んでいただいたほうがいいかなということで、ちょっとまだ説明してませんけども 1 ページのところはそれぞれの施設ごとの現状を盛り込みまして、それから先ほどの資料に基づいて、こういう現状ですけども何カ所くらいが適正ではないかというふうな言い方をしてはどうでしょうかということで、これも併せてご検討いただければというふうに思います。

分かりましたか？適正な配置ということで、スケート場が 1 カ所がゼロというようになっておるのもちょっと気になる場所ですけど...

ですのでこの分、併せて検討なんですけど、当然この評価のほうの最終評価も変わって来るということ、例えば今の会長さんが言われましたスケート場ですと D になるということですね。分かりました。

【山根課長】整合性を持たせないといけないと思いますので。

その他ございますか？これ、右側の現状を合計すると 34 となると思うんですけども、左側は今度は減ったので 23 で、10 箇所程度減らすという

(表3) 類似団体^(※)のスポーツ施設の現況※産業構造、人口規模50,000～70,000人程度、面積600～800km²程度で抽出

	島根県 浜田市	島根県 益田市	山口県 萩市	広島県 三次市	滋賀県 高島市	青森県 十和田市	北海道 石狩市	類似団体 平均	適正数
人口	57,399	47,088	48,704	53,075	50,316	62,880	58,984		
面積(km ²)	689.6	733.24	698.79	778.19	693	725.67	721.86	類似団体 平均	適正数
人口密度(人/km ²)	83.1	64.2	69.7	68.2	70.9	86.7	81.6		
合併状況(構成単位)	1市3町1村	1市2町	1市2町4村	1市4町3村	5町1村	1市1町	1市2村	類似団体 平均	適正数
担当部署	生涯学習課	社会教育課	スポーツ推進課	スポーツ課	市民スポーツ課	スポーツ生涯学習課	スポーツ健康課		
①陸上競技場	3	1	(1)	1	0	2	1	1	2
②野球場	4	3	(1)	4	2	2	1	2.2	3
③体育館	(1) 5	4	(1) 11	(1) 2	5	2	0	4.3	4
④テニス場 (硬式・軟式)	(1) 4	4	1	(1) 2	3	2	7	3.3	2
⑤多目的広場	7	(1) 2	(1) 11	5	6	2	6	5.7	5
⑥プール	3	2	1	(1) 2	3	4	1	2.3	3
⑦サッカー場	1	(1) 1	0	0	0	2	0	0.7	1
⑧フットサル場	2	2	0	0	0	0	0	0.3	2
⑨スケート場	1	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩グラウンドゴルフ	1	2	1	1	0	0	0	0.7	1
合 計	(2) 34	(2) 21	(4) 25	(4) 18	19	16	16	18.7	23
備 考	元並(方針は あるが、 具体的な計画はない)		プール2→1 元並(計画あり)	H20.3年度計画策定、 具体的な計画はない	元並(計画あり)	他に屋内グラウンド2箇所 耐震不足により3箇所 同施設は2→1を 数年前に計画を 想定		元並(計画あり)	

注:()内は県立施設 外数

(表3) 浜田市の状況及び類似団体(※)のスポーツ施設の現況

※産業構造、人口規模50,000～70,000人程度、面積600～800km²程度で抽出

	島根県 浜田市		参 考	島根県 益田市	山口県 萩市	広島県 三次市	滋賀県 高島市	青森県 十和田市	北海道 石狩市
人口	57,399			47,088	48,704	53,075	50,316	62,880	58,984
面積(km ²)	689.6			733.24	698.79	778.19	693	725.67	721.86
人口密度(人/km ²)	83.1			64.2	69.7	68.2	70.9	86.7	81.6
合併状況(構成単位)	1市3町1村		類似 団体 平均	1市2町	1市2町4村	1市4町3村	5町1村	1市1町	1市2村
担当部署	生涯学習課	適正数	社会教育課	スポーツ推進課	スポーツ課	市民スポーツ課	スポーツ生涯学習課	スポーツ健康課	
①陸上競技場	3	2	0.8	1	0	1	0	2	1
②野球場	4	3	3.7	3	(1) 1	4	2	2	10
③体育館	(2) 5	4	6.5	4	(1) 12	(1) 9	6	2	6
④テニスコ (硬式・軟式)	(1) 4	2	3.7	2	2	(1) 7	3	2	6
⑤多目的広場	7	6	5.8	5	(1) 10	(1) 7	9	2	2
⑥プール	3	3	3	2	1	(1) 6	3	4	2
⑦サッカー場	1	1	1	(1) 2	0	0	0	2	2
⑧フットサル場	2	2	0.2	0	0	0	1	0	0
⑨スケート場	1	1	0	0	0	0	0	0	0
⑩グラウンドゴルフ ゲートボール	3	1	1.2	2	1	2	2	0	0
合 計	(3) 33	25	25.8	(1) 21	(3) 27	(4) 36	26	16	29
備 考			見直し方針は あるが、 具体的な計画な し	プール2→1 見直し計画なし	H28.3管理計画策 定。 具体的な計画なし	見直し計画なし	他に屋内グラウ ンド2箇所 耐震不足により3 箇所閉鎖 閉鎖施設の2つを 統合新規建設を 想定	見直し計画なし	

注:()内は県立施設 外数

会議では0

以上のとおり、東公園内の各施設は、次の課題を抱えている。

- (ア) 陸上競技場を含む、東公園全体の地盤沈下
- (イ) 硬式野球利用時の場外への飛球による利用者等の安全確保
- (ウ) テニスコートの土ぼこりの周辺への悪影響
- (エ) 公園全体の慢性的な駐車場不足

しかしながら、当面、施設改修を進め、市民にとって利用しやすい施設として、維持・整備を行う必要がある。

イ サン・ビレッジ浜田

サン・ビレッジ浜田のスケート場は、平成8年の開館以来20年を経過し、あらゆる機器が老朽化、消耗し、更新や点検すべき時期に達している。

スケート場利用者は、開館当初の年間約20,000人がピークであり、自主財源(利用料収入)で管理・運営ができるほどの収入を得ていた。しかし、近年では、年間約10,000人と半減している。また、利用者のうち市民の利用が約40%と低迷している。

利用者の確保については、近隣でスケート場がある出雲市の宍道湖公園湖遊館(平成26年度入館者数約67,000人)や広島市の総合屋内プールなど、人口が集中する都市圏で入館者は確保できているものと思われるが、県西部の人口規模で、現状1万人を確保していることは、指定管理者の努力によるものであるが、収支をまかなうだけの入館者の増は難しい現状である。

今後の課題として、平成31年中で冷却媒体のフロンガスの製造が中止となり、他の冷媒に対応した施設に転換しなければならない。継続するためには、機器の更新費用として1億円以上の経費が必要と試算される。

また、老朽化しているエンジン、冷却管等の設備の改修が必要であり、多額の経費を要することが想定される。

こういった近い将来に多額の経費を要すること、現状での指定管理費や修繕費などのかかる通常経費で年間約1千5百万円以上を要している。

開館20年を経過し、設置当初と社会状況等、大きく変化していることから、今後のあり方を考える時、かかる経費、利用人数などと、この施設が、広く市民の健康増進やスポーツの振興といったことにおいて、費用対効果の観点から考えると、廃止といった厳しい判断にならざるを得ない。

廃止するとした場合、アイススケート場は、建物自体が今後も使用できるため、需要が高まっている軽スポーツなど屋内競技用施設へ用途変更し、ゲートボールやグラウンドゴルフなどができる多目的な施設への転換も考えられるが、施設自体の維持管理経費が今後も必要となる。

スポーツ広場については、平成23年度に天然芝から人工芝への大改修工事を行い、年間利用人数は、サッカー利用を中心に工事前までの4~5.倍の3万人を超え、十分に活用されている。また、平成27年度には、広場に隣接してフットサルコート1面と荒天時の避難所を兼ねた休憩所を建設し、利用しやすい施設としての整備を行っている。

盤の安定性は良いんですけども、補助グラウンドの確保や交通機関、宿泊施設や飲食関係などの利便性、また利用者の見込みなど、総合的に評価した場合、他の施設に投資して整備することは不向きであると判断しております。以上のことから現時点の結論から申しますと、既存の陸上競技場は市の中心にあり、小・中・高の練習場所としても使用され、一般市民のジョギングやウォーキングなど利用率も高く、幅広く市民に親しまれており、利用頻度・利便性・公共性などによる費用対効果から判断した場合、第4種公認を継続することはやむを得ないことと思っております。

続きまして野球場についてですけども、この施設も陸上競技場と同様に地盤沈下による影響を受けております。課題としては、硬式野球による場外飛球の安全性確保や老朽化したスコアボードの改修を初めとした他の施設の整備改修を実施する必要があります。中心的な役割を担う、既存する他の野球場として金城運動公園多目的広場・旭公園市民球場・三隅中央公園市民野球場の3つの施設がありますが、陸上競技場と同様に立地条件や交通機関、宿泊施設や飲食関係などの利便性、利用者の見込み数、観客席、広さなどによる費用対効果から判断した場合、当面は既存の浜田市野球場の改修等を進めながら将来像を検討して行くことになると思います。

続きましてテニスコートですけども、東公園内のテニスコートは利用頻度は高いです。しかしながら全天候型オムニコートではなく、4面しかありません。小規模でありますし、県の大会等は県が管理されている8面ある、石見海浜公園のテニスコートで行われることが多くなっております。またアンツーカーコートであるために土埃が周辺に拡散し、悪影響を与えているという課題もあります。現状の施設を拡大することは困難であり、大掛かりな改修や整備を実施するのではなく、石見海浜公園・金城運動公園・三隅中央公園のオムニコートの利用推進も必要であると思っております。東公園も各施設で大会等が重なった時に駐車場不足になることも多々あります。今後はそのテニスコートの利用について、駐車場とか緑地化、それから多目的グラウンドなどの他の用途に移行することも考えられるのではないかと考えております。

続きましてプールについてですけども、平成26年度に浜田市が施設を取得いたしました。昨年の平成27年11月から今年の28年の5月にかけて屋根等の改修工事を実施しました。これに伴い、内装や電気設備等も新しくなったために、今後20年間は施設として利用することが可能になりました。これまでスイミングスクールとして子供たちへの水泳教室の普及に貢献しており、全国大会出場者を輩出していること、また幼児から高齢者まで幅広く市民が利用されており、欠かすことの出来ない施設となっております。

以上、東公園内の施設について説明致しましたが、やはり大きな課題として公園全体が地盤沈下により施設の至るところで損傷や沈下が起こっており、この対策に莫大な投資をしても解決するといった確約もありますが、当面現行の施設を回収・整備しながら、市民が安全で安心して利用しやすい施設として整備を進めながら、将来的には島根県西部地域での県立の施設建設を望むところであります。以上、東公園について説明させて頂きました。

【近重】続いて失礼します。サンビレッジ浜田のほう、お配りした資料5ページのほうになりますけれどもご説明をさせて頂きます。生涯学習課の近重と申します。座って説明させて頂きます。サンビレッジ浜田でございますが、場所のほうは皆さんご存知の通り、海浜公園の方を右折して県道リゾート線に入って頂き、浜田ゴルフリンクスの県道を挟んだ対面に存在をしております。この施設については大きく2つで分けております。スケート場、もう1つはスポーツ広場。主にサッカーで利用されております。ですのでスケート場とスポーツ広場というところで別々に結論のほうをお話し致します。

スケート場につきましては結論だけ申し上げますと、かかる経費・利用人数など費用対効果の観点から考えると厳しい判断を下さざるを得ない施設であるというふうに考えております。理由を申し上げます。開館したのが平成8年、概ね20年を経過しました。あらゆる機器につきまして、老朽・消耗化しておりまして、更新・点検をすべき時期に達しております。また、利用者人数についてです。開館時点2万人でしたが、現在は半減して約1万人程度での推移をしております。また、市民のためのスポーツの振興のための施設ではございますが、内訳として概ね市民の方の利用が40%程度だということで推移をしております。この利用者の減少につきましては、県内の出雲市にあります宍道湖公園湖遊館、これは26年6万7000人です。浜田市の6.7倍ですね。で、広島市の総合屋内プール、ビッグウェーブというところがありますが、こういったところは都市圏の入館者が確保出来ていると思われませんが、こちらの人口規模で現状1万人を確保しているという状況でございます。この結果はやむを得ないものかと考えております。ま

た、施設の問題でございます。実は製氷するにあたりまして冷却する媒体にフロンガスというのを使っておりますが、こちらの製造が平成 31 年で中止となります。これはあくまで製造が中止になるだけであって使用が中止されるものではございませんが、もう補充が段々全体の総量が減って来ますので、もしスケートを続けるということになりましたら新しい冷媒に対応した施設への転換を求められております。ただ、その経費としましては、少なくとも 1 億円以上かかるということが試算されております。また、これはあくまで製氷にかかる機械ですがその他のエンジン…冷却管といったものも改修が必要であり、さらに経費を要することと考えられています。また、維持管理にかかるもの、修繕にかかるものということで、年間、市のほうから 1500 万円を支出しております。こういった観点から先ほど最初に申し上げた結論の通り、経費、利用人数の推移、社会情勢の変化等を鑑みますと、厳しい判断を下さざるを得ないというふうな考えを持っております。仮に廃止するとした場合には、スケート場自体の建物自体はまだ利用が出来るため、候補の 1 つとしまして屋内協議の軽スポーツに使える、例えばゲートボールであったりグラウンドゴルフが屋内で開催出来るというような施設へ改修をするということも考えられますけれども、やはり残すということであればそれなりの維持管理費がかかることが挙げられます。

2 つ目のスポーツ広場でございます。書いてある通り、23 年度に天然芝から人工芝への大幅な改修を行いました。それに伴いまして、例年の利用者から 4~5 倍増えまして、現在では 3 万人程度の利用がございます。また、平成 27 年にはこちらのサッカーコートに隣接しましてフットサルコートを 1 面、また、雨が降った時のために避難所を兼ねた憩所、150 m²程度のものを建設しております、利用の促進を図っているところでございます。

ンビレッジ浜田については以上で説明を終わります。

【本原】続きまして 6 ページですけども、各自治区のスポーツ施設に
掲載しております。A3 の紙をちょっと見て頂きたいんですけども、
年度の数値にしたものでございます。まず施設ごと、それに纏めて
それから維持管理費についてはちょっと括弧書きと括弧がないものか
上競技場・野球場・テニスコート・多目的広場、4 つございまして、それらの括弧の中が総額、括弧の外が、感覚的
なところであれなんですけども、大体何%の維持のための労力が要る、人件費等を概算で割ったもので、割り戻した
数字が管理費ということで書いております。利用料・使用料についてはその施設ごとの金額になっておりまして、そ
れを割ったもので割合を出しております。で、管理形態については直営か指定管理かを書いております。開設年につ
いてはその施設が出来た年度。続いて平成 27 年度の開設日数と、分かるものと分からないものがあるんですけども、
括弧の中で利用件数を示しております。次に、平成 27 年度の利用人数です。A4 の基準を見て頂きながらちょっとあ
らわしますけども、1 万人以上のものが青、2000 人以上のものが黄色、利用人数の 1000 人未満が赤で表示をして
おります。利用者 1 人当たりの単価につきましては 300 円未満が青、300 円~500 円が黄色、1000 円以上かかって
いるのが赤ということで表示をしております。続いて①収入割合については 30%以上、20~30、10~20、10%未満
ということで A B C D、色については赤だけをしております。規模につきましては施設によって若干違うところはある
んですけども、大規模・中規模・小規模・狭小ということで A B C D を分けております。で、施設設備の整備状況につ
いても A~D の基準を設けてやっております。経過年数につきましては大改修を行ったところでリセットして、年数
で判断をしております。利用度につきましては年間の大体的日数でランクを分けております。利用の範囲は概ねです
けども、市内・自治区内・特定の地域っていうような分けをしております。総合評価のところを書いておりませんけ
ども、これにつきましては、これは実は皆様のところでご記入なりを審議会のところでご意見を頂けたらと思ってお
りますけども、現状維持をする施設を A、それから現状維持なんだけど管理費の削減または料金の改定をして行く
施設を B、地域管理最小限の管理に留めて地域の管理を検討する部分が C、地域に移管もしくは廃止する施設は D っ
ていうふうな判断になるのかなど。これ、実は 21 年にもそういうことをしておりましたけども、そういった部分を
頂きながら今後の施設についての在り方を検討頂けたらということでご思っております。先ほど [] さんのほうか
らもありましたけども、自治区によって特色を持った施設もあろうかと思っておりますので、その辺りも考えながらその
評価についてはして行くべきかなということを事務局としては考えているところでございます。部長さん、課長さん、
補足等あったらお願いします。

張った説明

1500 万

支出

に
27
す。
と陸

浜田市内のスポーツ施設の現状

氏名()

(H29.1.16 現在)

施設名	自治区	管理形態	開設年	Ⅲ 平成 27 年度 利用人数	Ⅳ (1-11)月 利用者 一人当 単価	①②③④⑤⑥ 評 価										備 考	意 見 欄						
						収容 人数	種 目	整 備 状況	経 年 通 過	利 用 度	利 用 回 数	事 務 費 率	最 終										
													A	B	C	D							
①陸上競技場	1 浜田市陸上競技場(東公園)	浜 指定管理	S24							A	A	B	A	A	A	3	2	2	1	市民金庫が利用。公設の施設ながら競技・生涯スポーツ両面をもつ。H25公設維持改修:25,673千円	沈下が顕著な問題。移転を検討すべき		
	2 旭公園陸上競技場	旭 直営	S56							C	C	C	C	C	C		9			トラック内でグランドゴルフに利用。陸上の利用がほとんどない。			
	3 三隅中央公園市民陸上競技場	三 指定管理	S59							B	B	B	C	B	B	3	4			大会・部活動の場。H20トラック整備:2,916千円	沈下の心配なし。周辺に駐車場あり		
②野球場	1 浜田市野球場(東公園)	浜 指定管理	S23		446					C	A	A	B	A	A	4	2	1		一般・中・高が主で、競技スポーツの場として利用。H28SPO・放送設備改修:4,500千円	移転を検討すべき		
	2 今堀スポーツ広場野球場	金 指定管理	H11	1,110	887					C		B					2	7		成人の利用があるが、頻度少ない。			
	3 旭公園市民球場	旭 直営	S56	2,186						B	C		C	B	B	5	3			大会・部活動の利用がある。ナイターの廃止。地元を中心に利用されている。			
	4 三隅中央公園市民野球場	三 指定管理	S59	6,287	385					B	A	A	C	A	A	9				大会・部活動を中心として使用頻度は高い。H25スコアボード観客席等改修:76,870千円			
③体育館	1 浜田市健康増進センター	浜 直営	H12	不明						A		B	B	A	C	A	7			生涯スポーツの場として、一般、高齢者が主。利用頻度が高い施設。			
	2 サンマリノ浜田	浜 指定管理	S63	22,218	208					A	C	B	C	B	B	A	7			体育館は、多目的利用も多い。			
	3 金城運動公園体育館	金 指定管理	H4							B	A	A	C	A	A	A	7			一般利用が多い。サークル活動を中心に各種大会として利用。劣化による維持費が膨らむ。H25イレースロップ自動ドア改修:19,371千円	8アリーナに空間必要。更なる利用が期待。		
	4 旭公園市民体育館	旭 直営	S56	6,174	377					C	B	B	A	B	B	B	8			一般成人が主で、サークル活動。利用料の改修が必要。H26屋根改修、玄関フロア床面改修。			
	5 岡見スポーツセンター	三 指定管理	H8	1,387	670						C	B	C	C	D	C		6		一般利用が主。利用者が少なく、利用率向上に苦慮。評価D→C:利用度、利用範囲見直し	県外の集会所としても利用		
	6 三隅中央会館多目的ホール	三 指定管理	S61							C	C	B	A	B	B	C	5			体育館は、クラブ使用中心(ソフトテニス、バスケ、バレー等)H20中央会館改修:249,479千円(一部を和紙会館として改修)評価C→B:改修実施、利用範囲見直し	講演会等でも利用		
	7 三隅中央公園屋内プール多目的運動場	三 指定管理	H9	8,711	960						B	B	A	B	C	B	6			アクア三隅内施設。健康増進、生涯スポーツの場。(エアロ、卓球、バドミントン等)評価C→B:利用度見直し			
	8 三隅B&G海洋センター	三 指定管理	S57	4,421							C	B	A	B	B	C	5	1		生涯スポーツの場。利用意向が強い。老朽化により管理費も増加。H24屋根定価改修:50,044千円評価C→A:改修、利用度見直し	海洋教育の拠点施設		
④テニスコート	1 浜田市庭球場(東公園)	浜 指定管理	S29	4,289						A	A	B		B	B	B	5	2		一般、高齢・中学の利用。施設環境から生涯スポーツ色強い。	移転を検討すべき。駐車場への転用も検討		
	2 金城運動公園テニスコート	金 指定管理	H4	1,802							A	A	C	C	B	B	1	7		オムニコート。テニス以外にフットサルの利用がある。評価A→B:経年			
	3 旭公園市民テニスコート	旭 直営	S56							C	B	C	C		B	D	C		8	サークル利用が中心。老朽化により利用者減。評価D→C:利用範囲見直し			
	4 三隅中央公園市民テニスコート	三 指定管理	S59	1,783	792					C	B	B	B	C	B	B	7			生涯スポーツの場。施設整備がされたが、管理面から料金の見直しが必要。			
⑤多目的広場	1 浜田市東公園ふれあい広場	浜 指定管理	S57	不明							C	C		A	A	-	1	6		生涯スポーツの場で利用できる。駐車場としても利用。H27一部舗装1,714千円			
	2 金城運動公園多目的広場	金 指定管理	H4	4,486	704						B	B	B	C	B	B	8			社会人の大会やスポ少野球を中心に実施。			
	3 波佐山村広場多目的広場	金 直営	不明	-							C							7		利用実態がない施設			
	4 弥栄運動広場	弥 直営	S57	不明							B	C			C	C	1	6		高齢者中心の生涯スポーツの場。自治区唯一の多目的広場で、減免・免除規定が改善されると収益増	自治区活動の拠点。駐車場としても利用		
	5 三隅中央公園多目的広場	三 指定管理	H13								C	B	B	C	C	B	C	7		一般、高齢、子どもが主に利用。使用頻度が多いが、多額の管理費がかかっている。評価C→B:利用範囲見直し			
	6 田の浦公園ソフトボール場	三 指定管理	S45	7,010	331						B	B	C	C	B	C	C	1	6		スポ少野球の利用。地域のソフトボール大会開催		
	7 杉の森運動公園	三 直営	不明	-							C							7		利用実態がない施設			
⑥プール	1 浜田市室内プール	浜 指定管理	S62								A	C	B	A	A	B	-	A	6	H27.11~H28.5施設改修のため利用不可。小学校の授業でも利用。H2728屋根改修:100,000千円			
	2 旭公園水泳プール	旭 直営	S56	1,561	909						B	C			B	C	B	1	6	1	幼・小、中が学校行事として利用。中心は子どもたちの遊び場(夏のみ営業)評価C→B:利用度見直し		
	3 三隅中央公園屋内プール	三 指定管理	H9		539						C	B	A	B	A	A	A	7		水泳指導、健康増進として利用。	小学校授業活用		
⑦サウナ	1 サンビレッジ浜田	浜 指定管理	H9		372						C	A	A	A	B	A	A	7		中国地域大会が可能な施設。H23人口定住化 H24照明強化H25観客席整備			
⑧フットサルコート	1 サンビレッジ浜田	浜 指定管理	H28	-							C	B	A	C	-	B	B	1	5		H27新設:62,128千円		
	2 フットサルやさか競技場	弥 直営	H7	不明							C	B	A	C	C	A	A	B	1	5	専用コートとして市内外の利用あり。H27観客席整備、観客席改修:11,124千円評価A→B:経年、利用収入		
⑨その他	1 サンビレッジ浜田	浜 指定管理	H8		368						A	B	B	B	B	A	-	B	2	3	1	市内外からの利用。H27冷暖房一部交換:5,234千円	石見唯一のスケート場。将来展望の際、不安である
⑩G B G G	1 今堀スポーツ広場グラウンドゴルフ場	金 指定管理	H11	5,069							A	B	B	B	B	B	B	7		公園コース整備。			
	2 今堀スポーツ広場ゲートボール場	金 指定管理	H11									C	B				C		7	評価C→D:利用度見直し	駐車場として利用		
	3 八戸川農村公園ゲートボール場グラウンドゴルフ場	旭 直営	不明	-														8		利用実態がない施設			